

広報

活力あふれ

ひとが輝く

安らぎのまち

# 伊万里

平成24年度 予算特集号



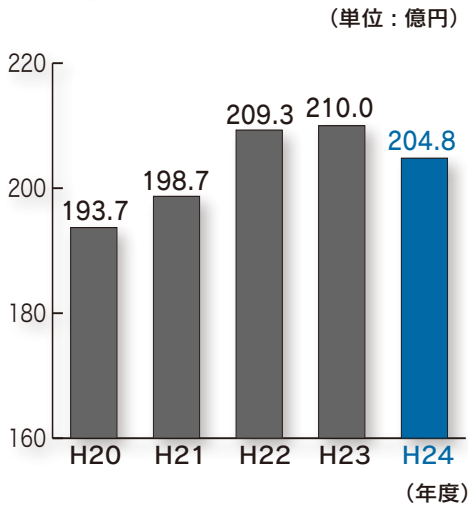
伊万里っ子キッズスポーツフェスティバル  
(平成24年3月20日：国見台陸上競技場)

# 一般会計

平成 24 年度当初予算総額

# 204億8400万円

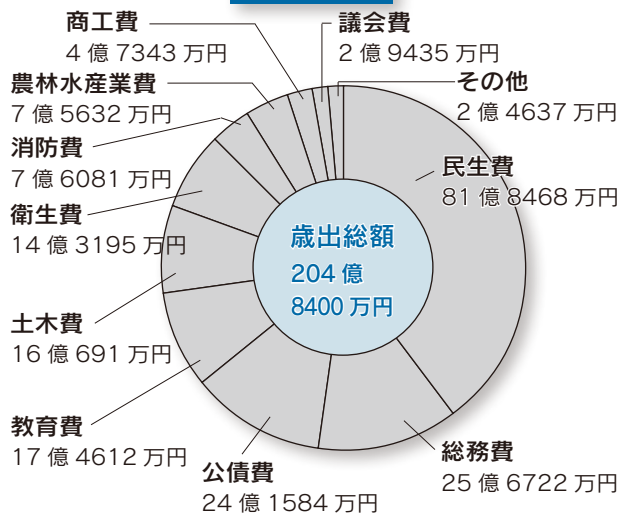
## 一般会計予算額の年度別推移



その結果、平成24年度の伊万里市一般会計予算は、総額で204億8400万円となりました。これは、平成23年度と比較すると、2.4%の減少となります。

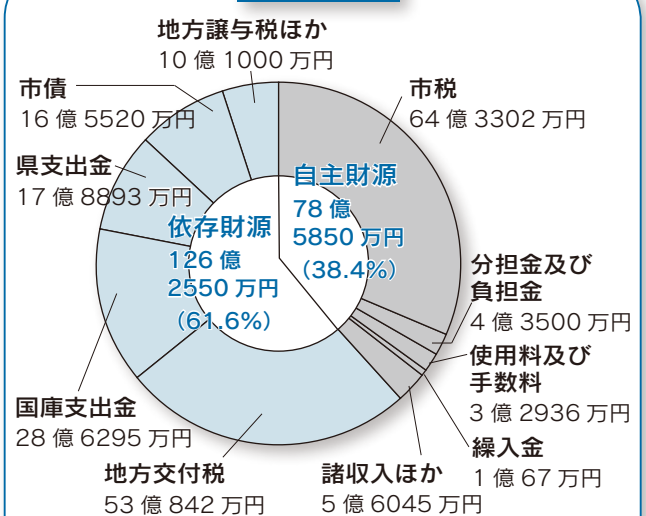
長引く景気の低迷に加え急激な円高の影響などにより輸出産業を中心に大きな打撃を受けており、法人市民税など税収の伸びも期待できないことから、厳しい財政状況が予想されます。このため、行財政改革の着実な推進により経費縮減と歳入確保を図るとともに、既存事業の徹底した見直しにより、限られた財源のなかで緊急性、効率性に配慮した予算編成に努めました。歳入については、固定資産の評価替えなどにより市税が減収となるものの、普通交付税は前年度より増額で見込み、基金繰入や市債などにより財源の確保に努めました。一方、歳出については、都市計画道路路陣内白野線の整備工事や住宅リフォーム緊急整備事業、二里小学校の校舎改築に向けた実施設計、国見台体育施設の改修事業などに重点的な投資をいくつか、子育て支援策の充実や保健活動の推進、農林業および商業・観光の振興、学校教育の推進、消防・救急体制の充実などのために限られた財源を有効に配分した予算の編成を行いました。

## 歳出



- 民生費……………社会福祉や児童福祉、生活保護など市民の安定した生活を保障する経費です
- 総務費……………企画、男女協働、国際交流など、主に総務部門に要する経費です
- 公債費……………借入金の返済に要する経費です
- 教育費……………小・中学校の学校教育をはじめ、社会教育や保健体育など教育全般の経費です
- 土木費……………道路、河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です
- 衛生費……………保健衛生、ごみの収集・処理などに要する経費です
- 消防費……………火災など災害に対応するための経費です
- 農林水産業費…農林水産業の振興に要する経費です
- 農工商費……………商工業や観光の振興に要する経費です
- 議会費……………議会運営に要する経費です
- その他……………労働費、諸支出金、災害復旧費などです

## 歳入



- 市税……………個人と法人の市民税、固定資産税、たばこ税などです
- 分担金・負担金…災害復旧事業の負担金、保育園の入所負担金などです
- 使用料・手数料…施設の使用料、戸籍や住民票の謄・抄本の手数料などです
- 繰入金……………基金や特別会計からの繰入金です
- 諸収入……………雑入などです
- 地方交付税……………国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです
- 国庫支出金……………国からの負担金や補助金です
- 県支出金……………県からの負担金や補助金です
- 市債……………市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です
- 地方譲与税……………国税から譲与されるものです

**表1** 特別会計予算額

特別会計名	予算額
国民健康保険	65億3,928万円
介護保険	55億6,861万円
立花台地開発事業	905万円
公共下水道事業	20億7,027万円
農業集落排水事業	1億1,634万円
市営駐車場	1,231万円
後期高齢者医療	13億1,146万円
計	156億2,732万円

**表2** 企業会計予算額

区分	水道事業	工業用水道事業
収益的収支	収入	13億3,382万円
	支出	10億4,342万円
資本的収支	収入	6億1,356万円
	支出	4億6,446万円
	収入	13億1,255万円
	支出	5億4,308万円

**表3** 市債現在高

会計区分	現在高	
一般会計	208億8,516万円	
特別会計	公共下水道事業	137億4,896万円
	農業集落排水事業	12億2,995万円
計	358億6,407万円	

会計区分	現在高	
企業会計	水道事業	47億6,364万円
	工業用水道事業	152億6,642万円
計	200億3,006万円	

※平成24年3月補正後の金額です  
 ※主な借入先は、財務省、地方公共団体金融機構、佐賀県、市中金融機関などです

# 特別会計



市では、一般会計のほか、特定の事業を行うときに、特定の収入をもってその支出に充て、一般会計と区分して経理する必要があるものとして『特別会計』を設けています。平成24年度は、表1のとおり

- 7つの特別会計を設けて事業を実施します。これら特別会計の予算総額は、156億2732万円となっています。
- **国民健康保険特別会計**  
国民健康保険税や国庫支出金を主な財源として、医療給付を行うための会計です
- **介護保険特別会計**  
介護保険料や国庫支出金を主な財源として、介護サービスを行うための会計です
- **立花台地開発事業特別会計**  
公共事業に伴う代替地供給を目的とした、宅地開発を行うための会計です
- **公共下水道事業特別会計**  
快適な生活環境の実現をめ

- **後期高齢者医療特別会計**  
『後期高齢者医療制度』の適用を受ける75歳以上の高齢者と65歳以上で一定の障害がある人から徴収した保険料を佐賀県後期高齢者医療広域連合へ納付する会計です
- **農業集落排水事業特別会計**  
農村地域の快適な生活環境の実現をめざし、排水事業を行うための会計です
- **市営駐車場特別会計**  
中心市街地や商店街などへの来訪者の利便を図る目的で設置している市営駐車場を管理・運営するための会計です

# 企業会計

市では、特別会計の中でも経営成績を明確にするため、『地方公営企業法』の適用を受けるものとして、次の2つの企業会計を設けています。それぞれ別の会計ごとの予算額は表2のとおりです。

- **水道事業特別会計**  
安心して飲める水を供給するため、水道使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です
- **工業用水道事業特別会計**  
工業用水を供給するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です



# 市債現在高

市が建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県、金融機関などから借り入れた市債の現在高は、表3のとおりです。

# 伸びゆく伊万里

## 豊かで自立した地域社会をめざし

## 不退転の決意で挑戦

平成24年第1回定例市議会（3月議会）で、塚部市長が平成24年度の市政運営についての所信表明を行いました。ここでは、その主な内容を紹介します。

### 平成24年 第1回定例会 所信表明

#### はじめに

平成14年4月に市長に就任して以来、これまで10年の間、前例にとらわれない新たな発想のもと、市民が主役の活気に満ちた地域社会の実現をめざし市政運営に邁進してきま

した。

特に、市勢発展の根幹となる都市基盤や産業基盤の整備、さらには尊い命と健康を守る地域医療の確保に全力を傾注してきたところです。市民の皆さんとの協働によって積み重ねてきた努力に



伊万里市長  
塚部 芳和

#### 時代潮流と社会情勢

より、そのプロジェクトの一つひとつが実を結び姿を現した今、私は、この10年を節目として初心に立ち返り、未来に向かって大きく伸びゆく伊万里市づくりに向け、さらに精力的に取り組んでいく覚悟です。

さて、我が国の経済は、世界的な金融危機や昨年の中東大震災の影響から緩やかながら回復基調にあるものの、依然としてデフレが継続するとともに、戦後最高水準の円高に伴い製造業を中心として産業の空洞化と雇用情勢の悪化が懸念される状況にあります。

このため、国においては、大震災と福島第一原子力発電所事故からの復活への取り組みをはじめ、経済成長と財政健全化を両立する経済運営の

#### 市政運営の基本方針

実現と、新成長戦略の実行の加速を一体的に位置づけた日本再生の基本戦略が構築されるとともに、少子高齢化社会に対応する持続可能な社会保障制度改革や地方の権限を拡大するための地域主権改革が推進されています。

また、地方においても、これまでの想定を超えた異常気象への備えやさまざまな危機管理への対応をはじめ、急激に進行する少子高齢化や人口減少、さらには長引く景気低迷に伴う財政の悪化など、極めて困難な課題に直面している状況にあります。

このような状況の中、地方自治体においては、これまでも増して効率的な行財政運営が強く求められる一方で、地域主権の考えのもと地域の実情に応じたきめ細かな行政サービスを提供していく必要があります。

このため、私は、いま一度地方自治の原点に立ち、市民の皆さんが安心していきいきと暮らす豊かで自立した地域社会の形成をめざし、立ちはだかる政策課題に対し不退転の決意をもって取り組みます。

伊万里港水深13m岸壁

西九州自動車道

広域ごみ処理施設

# 未来へ向かって

## 主要な施策

政策の推進にあたっては、総合計画に定めた将来都市像である『活力あふれ ひとが輝く 安らぎのまち 伊万里』の実現のため、重点的な事業の展開に努めます。

### 安心と安全の確保

風水害をはじめ、地震や津波、原発事故などの災害に対する防災体制を強化するため、専門部署として総務部内に防災危機管理室を設置しました。

また、原子力災害への備えとして、地域防災計画におい

て新たに原子力災害対策編の策定に取り組むほか、災害時における自主的で円滑な避難を促すため住民自らの手による防災マップ作成の全庁的な取り組みを進めます。

さらに、有田町とともに整備を進めてきた伊万里有田共立病院が3月1日に開院したことから、今後は圏域の医療機関との連携強化を図るとともに、休日・夜間急患医療センターを4月に新築移転するなど地域医療の充実に努めるほか、子どもの入院時の医療費助成の対象を中学生にまで拡大するなど子育て支援の充実に努めます。

このほか、上水道の第9次拡張については、井手口川ダムを水源に新たに整備した浄水場から水道水の供給を開始するとともに、県西部4市5町で整備を進めている広域ごみ処理施設については、敷地や取付道路の造成をはじめ施設の実施設計に着手するなど事業の推進を図ります。

### 将来に向けたひとづくり

未来の伊万里を担う子どもの教育環境の充実を図るため、二里小学校の校舎改築に向け実施設計を行うとともに

に、少子化の影響により児童生徒数が減少する中で適正な学校規模について検討を進めるほか、スポーツ活動の中核的施設である国見台公園において、陸上競技場の第3種公認更新のための整備を進めるとともに、子ども用のプールについても再開に向け改修に取り組みます。

また、中国大連市との友好交流25周年を記念して、市民訪問団を大連市へ派遣し人的交流の拡大を図るほか、地域づくりのリーダー育成のため農山漁村の資源を生かしたまちづくりをテーマとして10年ぶりに海外研修を実施します。

### 活力あるまちづくり

鍋島の伝統を受け継ぐ伊万里焼や高い評価を受ける伊万里牛など、全国的に知られる伊万里ブランドの高級なイメージを活用し、さらなるブランド製品の開発強化に努めるほか、本市の玄関口である伊万里駅に観光の専門部署を設置し、市外からの交流人口の拡大に向け観光協会との緊密な連携のもと新たな観光戦

略を展開します。

日本海側拠点港に選定された伊万里港については、大型化するコンテナ船への対応として、念願の水深13メートル岸壁の今年度完成とあわせガントリークレーンが設置されることから、官民一体となつて、さらなる集荷活動と新規航路の開設に取り組むほか、全庁にまたがる伊万里湾開発に関する業務を一元化し強化するため、政策経営部内に担当部署を設置しました。

また、長年の課題であった松島搦地区の浸水対策としてポンプ場の整備に取り組むとともに、都市計画道路大坪木須線については市道から県道への格上げを行い、早期開通をめざし整備促進に努めます。

さらに、伊万里港の物流の効率化を図るため、伊万里湾大橋の4車線化をはじめ臨港道路七ツ島線の早期整備を促進するほか、地域間の連携と交流のための交通網として、福岡都市圏とつながる西九州自動車道や有田町へのアクセス向上のためのセラミックロードの整備を促進します。

※次ページからは、主要な施策の概要と予算などについて、総合計画の5つのまちづくりの目標に沿って説明します。

# 安心で健やかな暮らしづくり

高齢者が安心して自立した生活を営むことができるよう、第5期介護保険事業計画に基づき、必要に応じた介護保険サービスを提供するとともに、健康増進などに関する相談への対応を行うほか、緊急通報システム機器などの設置に取り組みます。

第2次障害者計画および第3期障害福祉計画に基づき、障害者の自立を支える介護給付や職業訓練など障害福祉サービスの提供に努めるほか、医療的ケアの必要な重度の障害者を新たに受け入れる福祉施設などに対し支援を行います。

安心して子どもを産み育てることができるよう、児童手当の給付などにより子育て家庭の経済的な負担の軽減を図るほか、一時預かりや延長保育に加え、障害のある子どもを受け入れる認可外保育施設に対し新たに支援を行うなど多様な保育ニーズへの対応に努めます。

各種がん検診を実施するなど早期発見と早期治療に努めるほか、生活習慣病などを予防するため健康診査の結果に基づき個別の保健指導に取り組みます。また、妊婦や乳幼児の健康診査をはじめ、生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問し育児に関する相談や情報の提供を行うほか、子宮頸がんや小児用肺炎球菌などのワクチン接種への助成により接種率の向上を図るなど感染予防に努めます。



伊万里市老人クラブ連合会が主催するシルバー体育祭

●緊急通報システム事業 177万円  
突発的で緊急を要する事態に対応するため、在宅の一人暮らし高齢者などに対し、緊急通報機器を貸与します  
財源 市177万円 ▼長寿社会課

●老人クラブ活動事業 264万円  
市老人クラブ連合会および各単位老人クラブに対し、補助を行います  
財源 県53万円 市211万円 ▼長寿社会課

●地域生活支援事業 2674万円  
障害者自立支援法に基づき、障害者が能力及び適性に応じ自立した日常生活や社会生活を送るために必要な事業を行います  
財源 国1336万円 県668万円 市670万円 ▼福祉課

●身体障害者更生医療給付事業 8324万円  
身体障害者の社会的更正を促進するため、人工透析や心臓手術などへの医療費を給付し、身体的障害の軽減や機能回復を図ります  
財源 国4152万円 県2076万円 市2096万円 ▼福祉課

●障害者自立支援給付事業 8億2530万円  
障害者自立支援法に基づき、障害者やその保護者に対し障害福祉サービス利用の支援などを行い、障害者の

自立や社会参加を促進します  
財源 国4億1218万円 県2億609万円 市2億703万円 ▼福祉課

●重度障害者地域生活重点支援事業(新) 400万円  
医療的ケアが必要な重度障害者(児)を受け入れることができる福祉施設の開所を促進するため、看護師などの職員配置に対する経費の助成(事業報酬単価に加算)を行います  
財源 県200万円 市200万円 ▼福祉課

●障害児通所給付事業(新) 2291万円  
障害者自立支援法および児童福祉法の改正により、障害児の児童福祉施設への通所サービスに対して、給付を行います  
財源 国1104万円 県552万円 市635万円 ▼福祉課



アイマスクで行うオセロゲームなどを通じて、視覚障害者の皆さんの生活を体験

1 安心して健やかな暮らしづくり

● 児童手当支給事業

10億9635万円

次世代を担う子どもの育ちを社会全体で応援する観点から、中学校修了までの児童を対象に手当を支給します

財源 国7億6797万円 県1億6472万円 市1億6366万円

▼福祉課

● 子どもの医療費助成事業

1億1017万円

中学校修了までの子どもに対し、医療費の一部を助成します

財源 諸収入177万円 県5335万円 市5505万円

▼福祉課

● 児童扶養手当支給事業

3億686万円

子どもと生計を同じくするひとり親家庭などの生活の安定と自立を支援するため、手当を支給します

財源 国1億227万円 市2億459万円

▼福祉課

● 認可外保育施設支援事業（特別支援保育事業費補助金（新））

200万円

心身に障害があり、特別な支援を要する児童を受け入れている認可外保育所に対し、支援を行います

財源 県100万円 市100万円

▼福祉課

● 子育て支援センター管理運営事業

6336万円

子育て相談業務や一時預かり、休日保育など、多様化する保育需要に応じた子育て世代への支援を行います

財源 使用料87万円 国410万円 市139万円

▼福祉課

● 留守家庭児童クラブ管理運営事業

6255万円

就労などの理由により、昼間保護者のいない家庭の小学校低学年の児童に対し、安全な生活の場や遊びの場を提供し健全な育成を図ります

財源 使用料2064万円 県2601万円 諸収入60万円 市1530万円

▼教育総務課

● 病後児保育事業

450万円

保護者が就労などの理由により病氣回復期の子どもを自宅で保育できない場合に、子どもを一時的に預かり安心して就労などができるよう、運営委託を行います

財源 県160万円 市290万円

▼福祉課

● 延長保育促進事業

367万円

保護者の就労時間などに対応するため、開所時間（11時間）を30分延長する保育園に対し補助を行います

財源 県245万円 市122万円

▼福祉課

● 妊婦乳児健康診査事業

5410万円



4月にオープンした『休日・夜間急患センター』

繰入金220万円 諸収入564万円 市2363万円

▼健康づくり課

● 休日・夜間急患医療センター運営事業

1384万円

休日・夜間急患医療センターにおいて、日曜日や祝日、夜間における小児などの初期救急医療体制の確保を図ります

財源 市1384万円

▼健康づくり課

● 伊万里・有田地区医療福祉組合事業

2億1795万円

伊万里・有田地区医療福祉組合による伊万里有田共立病院の運営経費を負担します

財源 市2億1795万円

▼健康づくり課

● 医療費助成事業

1億5138万円

心身に重度の障害がある人やひとり親家庭などに対して、医療費の一部を助成します

財源 県7569万円 市7569万円

▼福祉課

● 婚活応援推進事業

238万円

少子化対策の一環として、結婚活動相談などにあたる結婚支援相談員を配置するとともに、出会いの場などを提供する協議会へ事業委託を行います

財源 市238万円

▼婚活応援課

● 予防接種事業

1億2190万円

感染症の発生を未然に防止するため、小児などへの各種予防接種や高齢者のインフルエンザ予防接種を実施します

財源 県1532万円 市1億658万円

▼健康づくり課

● 健康増進事業

3722万円

市民の健康保持を目的に、各種健（検）診、健康相談などを実施します

財源 国405万円 県170万円

# 創造的で心豊かなひとづくり



市民図書館で楽しそうに絵本を選ぶ女の子

生涯学習を推進するため、各町公民館などを拠点として伊万里の歴史や伝統を学ぶ伊万里学など地域の文化づくり活動を促進し、まちづくりにおけるリーダーの養成に努めるほか、図書館においては、読書を通して家族のきずなを深める家読を推進するとともに、引き続きブックスタートに取り組みなど、次代を担う子どもたちの豊かな心の育成に努めます。

安全な教育環境を確保するため小学校2校および中学校1校において耐震診断を行うほか、不登校となっている児童生徒へのカウンセリングを実施し心理的負担の軽減を図るとともに、学校適応指導教室において学校生活への復帰意欲を高めるための指導に取り組みます。

気軽に受講できるカルチャー入門講座をはじめ、市民音楽祭や美術展など市民参加型のイベントに取り組みほか、芸術鑑賞の機会として自治総合センターとの共催により宝くじまの音楽会を開催します。

大川内山を形づくる史跡や町並みを将来に継承するため、市民との協働により活用計画の策定を進めるとともに、市内に点在する窯跡へのパトロールや警告看板の設置など保護活動に取り組みます。



乳児3か月健診で行っている『ブックスタート』

- 伊万里塾推進事業 70万円  
地域の歴史、文化、風土、自然などの特性を活かした地域づくりを推進するため、各町公民館を拠点に独自の講座などを開催します  
財源 市70万円 ▼生涯学習課
- 家読推進事業 12万円  
読書を通じた家族のコミュニケーションを促進するため、家読推進講演会や出前講座などを開催し、家庭や地域、学校が一体となった家読の推進、拡大を図ります  
財源 市12万円 ▼市民図書館
- ブックスタート事業 36万円  
3か月健診時に赤ちゃんとその保護者に対し、絵本を配布するとともに、

- 青少年相談・補導活動事業 177万円  
いじめ・不登校・非行などの問題行動が増加する中で、子どもや家庭が抱える悩みなどを相談できる体制や環境を確立し、問題の早期解決に努めます  
財源 財産収入2万円 市175万円 ▼生涯学習課
- 放課後子ども教室推進事業 92万円  
安全・安心な子ども活動拠点(居場所)を設け、地域の人たちの参画を得て、子どもたちと共にさまざまな学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取り組みを推進します  
財源 県61万円 市31万円 ▼生涯学習課
- 小学校建設事業 6447万円  
二里小学校の改築工事に伴い、校舎の実施設計を行います  
財源 市6447万円 ▼教育総務課
- 小・中学校耐震化事業 848万円  
公共施設の耐震化優先度調査をもとに、小中学校の耐震診断を行います  
財源 国283万円 市565万円 ▼教育総務課



●**学校適応指導教室事業** 365万円  
生涯学習センターと旧ポリテクセンター内に学校適応指導教室『せいら』を開設し、学習や体験活動を通して不登校児童生徒の学校復帰を支援します  
財源 市365万円 ▼**学校教育課**

●**スクールカウンセラー事業** 298万円  
教育相談の専門的な知識や経験を持つスクールカウンセラーを小学校に配置し、不登校、いじめなど子どもや保護者が抱える悩みについて、適切なカウンセリングを実施します  
財源 県99万円 市199万円 ▼**学校教育課**

●**特別支援児童生徒サポート事業** 390万円  
小中学校において学習障害（LD）や注意欠陥多動性障害（ADHD）、肢体不自由などの特別な支援を必要とする児童生徒に対し臨時雇職員を配置し、学習・生活支援を行い自立を支援します  
財源 市390万円 ▼**学校教育課**

●**特色ある学校創造事業** 40万円  
児童生徒の学力向上や豊かな心の育成を図るため、各学校が学校や地域の実態に応じて事業を企画立案し、特色ある学校づくりを推進します  
財源 市40万円 ▼**学校教育課**

●**市小中学校規模適正化推進協議会事業** 25万円  
小中学校の規模適正化を図るため協議会を開催します  
財源 市25万円 ▼**学校教育課**

●**家庭・学校・地域連携支援事業** 60万円  
家庭と学校と地域が連携し、地域全体で子どもたちの健やかな育ちや学力向上を支援するための体制づくりに必要な経費について補助を行います  
財源 県30万円 市30万円 ▼**学校教育課**

●**学校給食センターPFI事業** 1億6194万円  
PFI手法により整備した学校給食センターの建設経費などを、平成18年度から平成33年度までの16年払い  
財源 県30万円 市30万円 ▼**学校教育課**



地元食材を給食で味わう『ふるさと食材伊万里の日』

で支払います  
財源 市1億6194万円 ▼**体育保健課**

●**国見台体育施設改修事業** 1億4466万円  
国見台体育施設の老朽化に伴い、各種補助制度を活用して改修工事を行います。今年度、第3種公認期限を迎える陸上競技場の走路を改修するほか、施設の改修により休止中の徒歩プールを再開します  
財源 国3500万円 諸収入4531万円 市債5110万円 市1325万円 ▼**体育保健課**

●**スポーツ振興支援事業** 361万円  
市民スポーツの振興を図るため、市体育協会などに対する各種補助を行います  
財源 市361万円 ▼**体育保健課**

●**国際交流推進事業（大連市友好交流25周年記念事業及び天津ビジネスミッション事業）** 190万円  
中国大連市との交流25周年を迎えるにあたり、市長などによる大連市表敬訪問や市民訪問団による交流行事を通じて関係の強化を図ります。また、併せて伊万里港の貿易拡大をめざし、中国・天津でビジネスミッションを開催します  
財源 繰入金144万円 市46万円 ▼**地域開発・公共交通対策課**

●**史跡大川内鍋島藩窯跡保存整備事業** 125万円  
大川内山の『歴史的資産』『町並み』『周辺景観』の3つの資源について、22世紀に残す佐賀県遺産支援事業費補助金を活用し、今後に向けた総合的な活用計画の策定を行います  
財源 県100万円 市25万円 ▼**生涯学習課**



鍋島藩窯の伝統文化を受け継ぐ大川内山

# 活気あふれる産業づくり



丁寧に出荷作業を行うブドウ農家の皆さん

地域における農業の経営体のあり方をはじめ農地の集積や生産品目など今後の方向性を示す地域農業マスタープランの策定に取り組むとともに、新たに若年層の就業意欲の向上と新規就農者の定着を図るための支援を行うなど、担い手の育成に努めるほか、農地の保全や農業用水など農村環境の維持改善のため地域が一体となって取り組む活動を支援します。

新たな企業の誘致や雇用の拡大に向け、七ツ島工業団地をはじめ遊休地の紹介など積極的な立地勧奨を行うとともに、既に立地した企業に対するフォローアップ活動に取り組むほか、工業用水の安定供給を図るため浄水施設の計画的な更新に努めます。

また、地場産業の振興を図るため、中小企業の経営安定化への支援を行うほか、厳しい雇用情勢が続く中、高校をはじめ関係機関と連携し高校新卒者の市内企業への就職活動を支援します。

中心市街地における集客および情報発信の拠点となる伊万里まちなか一番館の運営を支援するとともに、伊万里商工会議所などと連携し集客に向けた取り組みを行うなど、商店街の振興を図ります。

●米・麦・大豆競争力強化対策事業

1300万円

水田農業の担い手の経営安定と競争力のある売れる米・麦・大豆づくりを推進するため、水田農業の担い手自らが経営発展に向けて策定した『効率的生産確立計画』の実現に必要な機械・施設などの整備に対して支援を行います

財源 県1000万円 市300万円  
▼農業振興課

●地域農業マスタープラン作成事業

37万円

地域において中心となる経営体の決定や農地の集積など、地域農業のあり方を記載した地域農業マスタープランを策定します

財源 県37万円  
▼農業振興課

●有害鳥獣対策事業

983万円

イノシシやアライグマなどの農作物に深刻な被害をもたらす有害鳥獣の駆除に要する経費、並びに駆除従事者の確保のためワナおよび銃に係る狩猟免許取得に要する経費の一部助成などを行います

財源 市983万円  
▼農業振興課

●新規就農者確保事業

600万円

新規青年就農者に対し、経営が不安定な就農直後の所得の確保や就農時における初期負担の軽減を行い、青年層の就業意欲の喚起や就農後の定



若い就農者による田植えの様子

着を図るため、給付金を給付します  
財源 県600万円  
▼農業振興課

●農地・水保全管理支払交付金（共同活動支援）事業

1580万円

農地、農業用水などの資源および農村環境が将来にわたり良好な状態で保全管理され、その質的な向上が図られるよう地域ぐるみの共同活動への支援を行います

財源 県32万円 市1548万円  
▼農山漁村整備課

●中山間地域総合整備事業

1644万円

中山間地域の特性を活かした農業の展開と豊かで活力のある農村づくりを推進するため、農業生産基盤や生活環境基盤などの整備を総合的に実施します

財源 分担金236万円 県280万円 市債420万円 市708万円  
▼農山漁村整備課

●中山間地域等直接支払交付金事業  
1億8839万円

中山間地域における農業生産条件の是正、耕作放棄地の発生防止、水源かん養、洪水防止などの多面的機能の維持増進を図るため、交付金を交付します

財源 県1億4171万円 市4668万円

●強い園芸農業確立対策事業  
2011万円

強い園芸農業を確立するため、省資源・環境保全型の園芸生産や新たな園芸生産の取組み拡大に向けた機械・施設などの整備に対して、支援を行います

財源 県1547万円 市464万円

●重要森林公有化等支援事業  
500万円

佐賀県の『重要森林公的管理支援事業』として森林所有者との協定により、市内荒廃森林の間伐施業などを行います

財源 県500万円

▼農山漁村整備課

●佐賀玄海漁業協同組合併支援事業  
67万円

玄海地区の8漁協が合併し新たに発足した『佐賀玄海漁業協同組合』が行う施設整備などを支援し、経営の

安定および地域水産業の振興を図ります

財源 市67万円

●工場等設置奨励事業  
6938万円

投下固定資産額の一定要件を満たす企業に対し、不均一課税（半島振興法）および通常課税を行い、課税分については翌年度に納税額を奨励金として交付し、工場などの新設、増設の推進を図ります

財源 市6938万円

▼企業誘致・商工振興課

●緊急雇用創出基金事業  
9059万円

雇用情勢の悪化を受け、国からの交付金を財源として県で創設された緊急雇用創出基金事業を活用し、地域の雇用機会の創出を図ります

財源 県9059万円

▼企業誘致・商工振興課

●企業等経営安定化支援事業（中小企業振興資金預託金）  
2億3000万円

市内中小企業の資金調達の円滑化を図るための原資として金融機関へ預託します

財源 諸収入2億3000万円

▼企業誘致・商工振興課

●商業団体等活動支援事業（伊万里まちなか活性化運営協議会補助金）  
1014万円

伊万里まちなか一番館を拠点に、民間のまちづくり団体が中心となって取り組む中心市街地活性化に向けた各種の事業を支援します

伊万里まちなか一番館を拠点に、民間のまちづくり団体が中心となって取り組む中心市街地活性化に向けた各種の事業を支援します

財源 県500万円 市514万円

▼企業誘致・商工振興課

●観光総務事業  
529万円

宣伝活動やパンフレット作成など、観光の活性化を図るための全般的な業務を行います。また、観光協会と連携を深めるため伊万里駅ビル内に部署を移設します

財源 繰入金10万円 市519万円

▼観光課

●伊万里牛PR事業  
76万円

伊万里牛を全国に広くPRすることを目的に各種イベントなどを行います

財源 市76万円

▼観光課

●グリーン・ツーリズム推進事業  
314万円

農林漁業の体験、民泊および畑の中のレストランのほか、『軽トラ市』を開催する伊万里グリーン・ツーリズム推進協議会に対して補助を行うなど、農村と都市との交流を促進します

財源 市314万円

▼観光課

●いまり秋祭り事業  
151万円

伊万里の郷土色豊かな伝統を織りなす市民総参加型の秋祭りとして定着

している『いまり秋祭り』の実施への支援を行います

財源 市151万円

▼観光課

●どっちゃん祭り事業  
145万円

かつての焼物積出し港であった伊万里津の賑わいを女みこしなどで再現し、伊万里の夏祭りとして定着している『どっちゃん祭り』の実施への支援を行います

財源 市145万円

▼観光課

●イマリンビーチ管理運営事業  
716万円

イマリンビーチの年間を通じた維持管理を行います

財源 使用料5万円 諸収入169万円 市542万円

▼観光課



わっしょいパレードで盛り上がる伊万里秋祭り

# 安全で快適な地域づくり



安全を確認し元気に横断歩道を渡る大川内小学校の児童

市民生活における交通の円滑化を図るため、都市計画道路陣内白野線をはじめ市道の計画的な整備に努めるとともに、老朽化した橋の経済的な修繕などの指針となる橋りょう長寿命化修繕計画の策定に取り組みます。また、中心市街地で運行しているいまりんバスに加え、新たに市街地近郊を範囲とする巡回バスの実証運行に取り組みます。

市営住宅の計画的な改修に取り組みほか、災害時における市民の避難先となっている公共施設の耐震診断を実施するとともに、一般住宅の耐震診断についても支援を行います。

環境保全については、水質や大気の調査を定期的に行うとともに、市民との協働で不法投棄監視のための巡回を実施するほか、新たに自動車騒音の監視に取り組みます。

消防・救急体制の充実や強化のため、救助工作車の更新をはじめ消防資機材の整備を図るとともに、老朽化した小型動力ポンプを更新するほか、佐賀県消防広域化推進計画に基づき有田町と広域化に向けた協議を進めます。

急傾斜地やがけ地の崩壊の未然防止を図るとともに、煤屋川の改修により農地や家屋などへの浸水対策を進めるほか、地区防災委員の研修を行うなど、地域の防災力向上に努めます。

●道路維持事業 2800万円  
市内全域の市道の維持補修工事などを行います  
財源 市2800万円 ▼建設課

●道路整備総合交付金事業

3346万円  
社会资本整備総合交付金を活用し、市道重橋・中山線、市道天神・浦川内線の改良を行います  
財源 国1815万円 市債1480万円 市51万円 ▼建設課

●都市計画道路整備事業(陣内白野線)

1億1661万円  
都市計画道路陣内白野線について、国道202号への接続に向けて整備を行います  
財源 国6325万円 市債5170万円 市166万円 ▼都市開発課

●煤屋川改修事業関連市道煤屋3号線拡幅事業

1150万円  
総合流域防災事業より改修を行っている煤屋川の管理道路を兼ねる市道煤屋3号線の拡幅工事を行います  
財源 市1150万円 ▼土木管理課

●橋りょう長寿命化修繕計画策定事業

811万円  
橋(道路橋)の老朽化について、点検診断により状態を把握し、予防的な補修などを計画的に行うため、長寿命化修繕計画を策定します

財源 国400万円 県390万円 市21万円 ▼土木管理課

●路線バス運行事業

2282万円  
いまりんバスおよび周辺部における巡回バスの運行に取り組みとともに、東山代元気バスの運営を支援するほか、市街地4<sub>0</sub>圏内路線バスの実証実験を行うなど、市民の移動手段を確保します  
財源 市2282万円 ▼地域開発・公共交通対策課

●公共交通支援事業(松浦鉄道施設整備事業費補助金)

1346万円  
第三セクターである松浦鉄道の車両更新や設備更新などへの支援を行います  
財源 市1346万円 ▼地域開発・公共交通



地域交通としての役割を担う松浦鉄道



海上物流の拠点を担う伊万里国際コンテナターミナル

●日本海側拠点港推進事業(新) 14万円  
伊万里港が平成22年8月に重点港湾に、平成23年11月に日本海側拠点港に選定されたことから、今後のさらなる港湾整備に向けて提案活動などの取り組みを行います  
財源 市14万円

●簡易水道等施設整備事業(水道事業特別会計) 1億7284万円  
屋敷野地区の水源の水量不足などを解消するため当該地区を上水道に統合するとともに、水道未普及地域である大野岳地区に水道施設を整備し上水道の給水区域を拡張します  
財源 国6302万円 市債5000万円 出資債1942万円 市4040万円  
▼工務課

●住宅・建築物耐震改修等事業 450万円  
公共施設の耐震化優先度調査をもとに、耐震診断を行います。また、一般住宅についても、耐震診断に必要な経費の一部を助成します

●都市公園管理事業 3760万円  
都市公園37施設の清掃、樹木などの剪定・防除、遊具の点検などの維持管理を行います  
財源 使用料17万円 諸収入7万円 市3736万円  
▼都市開発課

●浦ノ崎簡易水道浄水施設改良事業(水道事業特別会計) 2億9400万円  
浄水施設の老朽化などに対応し、水道水の安全かつ安定的な供給を図るため浄水施設の改良を行います  
財源 国6600万円 市債2億2000万円 市800万円  
▼工務課



楠久津公園の除草作業を行う皆さん

●浄化槽設置整備事業(浄化槽設置整備事業補助金) 2970万円  
生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止を図るため、浄化槽を設置する世帯に対し補助を行います  
財源 国990万円 県990万円

●公共下水道事業(公共下水道事業特別会計) 20億7027万円  
快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を推進します  
財源 国7050万円 市6億8000万円 市債7億9650万円 使用料など5億2327万円  
▼下水道課

●地域住宅総合整備交付金事業(新) 2641万円  
老朽化が著しい市営住宅について、社会资本整備総合交付金を活用し、改修工事を行います  
財源 国1177万円 市債1430万円 諸収入11万円 市23万円  
▼建設課

●住宅リフォーム緊急助成事業 7690万円  
『佐賀県住宅リフォーム緊急助成事業』を活用し、住宅のリフォーム工事を行う者に対し助成を行います  
財源 県7690万円  
▼建設課

財源 国96万円 県1万円 市353万円  
▼建設課



バザーでにぎわりサイクルフェア

●環境センター管理運営事業 2億6595万円  
市内から排出されたごみ(一般廃棄物)を衛生的かつ適正に処理するため、焼却施設を安全に稼働できるように管理運営を行うとともに、ごみのリサイクル処理を行います  
財源 諸収入1919万円 市2億4676万円  
▼環境課

●ごみ処理広域化推進事業 9110万円  
佐賀県西部4市5町で構成する佐賀県西部広域環境組合の経費を負担し、新施設の建設推進を図ります。今年度は、プラントメーカー選定、取付道路工事および敷地造成工事などをを行います  
財源 市9110万円  
▼環境課

市990万円  
▼下水道課



昨年行われた佐賀県原子力防災訓練の様子

●資源ごみ回収奨励事業 300万円

リサイクル推進やごみ減量化対策の一環として、資源ごみの回収団体に  
対し補助を行います

財源 市300万円 ▼環境課

●塵芥処理管理事業

1億3706万円

ごみを分別収集するための指定ごみ袋の作製を行うとともに、一般廃棄物の収集運搬を業者へ委託し実施します

財源 手数料1億199万円 諸収入30万円 市3477万円 ▼環境課

●伊万里・有田地区衛生組合事業

2億7444万円

伊万里・有田地区衛生組合が行うし尿処理や火葬場事業などの運営経費を負担します

財源 市2億7444万円 ▼環境課

●自動車騒音常時監視事業新

132万円

権限委譲に伴い、これまで県で行っていた市の区域に係る自動車騒音などの調査および評価を行います

財源 市132万円 ▼環境課

●消防車両更新整備事業

953万円

多種多様な災害などに対応する救助工作車について、5年間のリース契約による更新を行います

財源 市953万円 ▼消防本部

●救急救命士養成事業

253万円

救急業務体制の充実強化を図るため、高度な救急処置を行うことができる救急救命士を養成します

財源 市253万円 ▼消防本部

●非常備消防車両等整備事業

436万円

各地区消防団に配備されている小型動力ポンプについて、老朽化のため更新を行います

財源 諸収入417万円 市19万円 ▼消防本部

●災害対策事業（わがまち・わが家の防災マップ作成費補助金、防災用品（新））

133万円

地域における防災対策として、地域の実情を調査し、住民に周知することができると地域の防災マップ作成に係る費用について、一部補助を行う

ほか、放射線測定器を購入します

財源 市133万円 ▼総務課

●河川管理事業

1184万円

準用河川および普通河川の正常な機能管理ならびに河川の排水機場、樋門などの管理を行います

財源 国297万円 県240万円 市647万円 ▼土木管理課

●浸水対策事業

8440万円

伊万里湾の干満の影響を受け、満潮時と豪雨が重なる際に道路などが冠水する松島搦地区について、雨水渠および排水ポンプなどの整備を行います

財源 国4150万円 市債4180万円 市110万円 ▼下水道課

●総合流域防災事業

6411万円

準用河川煤屋川について、狭小で蛇行しているため台風や豪雨時は頻繁に氾濫し、農地や家屋に浸水被害を及ぼしていることから、改修工事を行います

財源 国2100万円 市債4130万円 市181万円 ▼土木管理課

●井手口川ダム建設促進事業（周辺整備工事）

2228万円

井手口川ダム建設事業に伴う周辺環境整備として、トイレ設置工事を行います

財源 諸収入1114万円 市1114万円



山元記念病院で行われた消防署・自衛消防隊合同消防総合訓練

万円 ▼地域開発・公共交通対策

●交通安全施設整備事業

1014万円

社会資本整備総合交付金を活用し、歩行者の安全確保のため、既存歩道の段差解消や拡幅を行います

財源 国550万円 市債450万円 市14万円 ▼建設課

●防犯灯設置費助成事業（防犯灯設置費補助金）

120万円

各行政区が行う防犯灯の設置に対し、事業費の一部を補助します

財源 市120万円 ▼総務課

# 自立と協働のまちづくり



食のまちづくりフォーラムでピザ作りに挑戦する親子

行政への市民の関心を高めるため、広報紙やホームページなどを用いた的確で迅速な行政情報の提供に努めます。また、重要な施策などの決定においてはパブリックコメントを実施するとともに、伊万里っ子ポストにより広く提案を受け付けるなど市民の声の市政への反映に努めます。

地域の活性化をめざし、各町において主体的に取り組まれているまちづくり活動を促進するとともに、市民活動団体などが自ら企画し実行する事業の支援に努めます。

男女協働参画社会の形成に向け、男女協働参画社会推進の指針となる計画の改定に取り組むとともに、伊万里市男女協働参画懇話会との連携により啓発活動を行うなど、市民意識の醸成に努めます。

自立した行政経営の確立に向け、職員の政策形成能力向上のための研修事業に取り組み、地域主権改革をはじめ様々な行政需要に的確に対応できる職員の育成に努めます。また、行政改革への不断の取り組みはもとより、財源や人材など限られた資源の効果的な活用により真に必要な施策への集中的な投資を行い、市民満足度の一層の向上に努めます。

●**地域の元気推進事業** 1052万円  
地域の課題に対応した、住民自らの手によるまちづくり活動を支援するため、市内全13町(地区)公民館を拠点に組織された『まちづくり運営協議会』に対し助成を行います  
財源 繰入金1050万円 市2万円  
▼男女協働・まちづくり課

●**21世紀市民ゆめづくり計画支援事業** 139万円  
市民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、市民活動団体が主体的に取り組むまちづくり活動に対し支援を行います  
財源 財産収入34万円 市105万円  
▼男女協働・まちづくり課

●**次代を創る研修事業** 323万円  
人材育成の一環として『ふるさと創生人材育成基金』を活用し、市民と行政との協働によるまちづくりに向けた研修活動を実施します。今年度は、『農山漁村にある地域資源を活用した新たなまちづくり』をテーマにした海外研修を行います  
財源 財産収入10万円 繰入金243万円 諸収入70万円  
▼男女協働・まちづくり課

●**地籍調査事業** 1億5268万円  
公共財産の保全とともに、土地に関する基礎資料とするため、黒川町や波多津町の一部の地籍調査を行い

ます  
財源 手数料18万円 県9675万円 諸収入50万円 市5525万円  
▼地籍調査課

●**賦課徴収事業(家屋の全棟実施調査業務委託)** 2000万円  
平成22年度から実施している家屋の全棟調査(家屋評価)事業を継続して行います  
財源 市2000万円  
▼税務課

●**議員政務調査支援事業** 600万円  
市議会議員の調査研究活動のため、必要な経費の一部として、政務調査費を交付します  
財源 市600万円  
▼議会事務局



る漕ぎレースで盛り上がる波多津みなと祭り

# 未来へジャンプ!



広報 **伊万里**

## 平成24年度 予算特集号

- 発行日／平成24年4月15日
- 発行編集／伊万里市情報広報課広報係  
(0955)23-4313(ダイヤルイン)  
〒848-8501佐賀県伊万里市立花町1355番地1
- 伊万里市のホームページ  
<http://www.city.imari.saga.jp/>
- 印刷／株式会社 三光